2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教 員による授業科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
52431	児童文化 Literature for Children	藤井 弓子 中 西 由香里		共通	1	選択	2前期

科目の概要

児童文化財をとおして、子どもの遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を体系的に修得し、実践力を養うことを目的とする。 実際に人形やパネルシアターを制作し演じ方の技術を身に付ける。

学修内容	到達目標
① 児童文化財について概観する。 ② シナリオづくりのため 昔話の特徴を理解する。 ③ 児童文化の基本的な知識を身に付け、人形劇・パネルシアター 等の意義と指導方法を理解する。 ④ 制作と演じ方の実演を体験する。	① 子どもの発達段階を理解し児童文化財について説明することができる。 ② 昔話の特徴を説明することができる。 ③ パネルシアターのシナリオ、人形劇の制作計画を提案することができる。 ④ 児童文化を保育へ展開するための知識を修得し、人形劇やパネルシアターを制作することができる。 ⑤ 人形劇・パネルシアターを演ずる技術を身に付け、発表することができる。

発揮させる社会人基 能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
主体性	児童文化財の良さを伝えるために、授業の中での発言や演習など積極的に関わることができること。 また、技術修得のために自ら練習をすることができる。
働きかけ力	
実行力	失敗を恐れずに、とにかくやってみようとする果敢さをもって演習や発表に取り組むこと ができる。
課題発見力	多くの児童文化財に触れ学んだ知識や情報を活かし、発達年齢にあった児童文化財を選ぶ ことができる。
計画力	制作計画表に記入した期限を守り制作できる。
創造力	作品を作り上げる力、人前で演じることができる力、感動を伝えることができる力など身 に付けることができる。
発信力	聞き手にわかり易い発表、声の大きさ、話す速さ、話す内容が整理されている。
傾聴力	相手の意見を共感的に聴くことができ、さらに自分の意見を述べることができる。
柔軟性	
情況把握力	
規律性	無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
ストレスコントロール力	
	能力要素 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性

テキスト及び参考文献

テキスト:「人形のつくり方と脚本」子どもと文化研究会編/発行 テキスト:「児童文化」川勝泰介・浅岡靖央・生駒幸子編/萌文書林 参考文献:講義内で適宜紹介する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連: 保育内容「言葉」 保育内容「表現」

資格との関連:保育士 幼稚園教諭

学修上の助言	受講生とのルール
・日頃から児童文化財に関心を持つように心がけると良い。 ・授業内での講義、演習、随時課される課題に対応できるようにテキストやプリント等に目を通しておくとよい。 ・欠席をすると制作作業が遅れるため留意すること。	・授業内で指示したパネルシアターの資料等、大学図書館や公共図書館等で借り持参すること。

【評価方法】

評価 対象	評価 評価方法 対象		評価の 割合	到達目標		目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
	学期末試験	筆記 (レポー ト含む)・実 技・口頭試験	35	① ②	1		・人形劇「なかよし」の実践力を確認するために成果発表をする。 (20点) ・パネルシアターの実践力を確認するために成果発表をする。			
				3			── (15点) - 習得技術で評価する。			
				4	1					
				(5)	1					
			0	1						
				2						
		小テスト		3						
学修成果	平常評			4						
				(5)						
		レポート	30	1	✓		・人形劇「なかよし」の制作計画表で評価する。(10点) ・パネルシアターのシナリオ作成で評価する。 (10点)			
				2	1		・昔話の「語法」が理解できているか確認する。(10点)			
				3	✓					
				4						
		成果発表(プ レゼンテー ション・作品 制作等)	25	5			↓ 取べ時川「チェホ、ト)」(1m 上)			
	価			1	√		・人形劇「なかよし」(15点) 			
				2	✓		作品は 3 段階の A・B・C で評価する。 			
				3	1		B完成度は高く表現にも工夫が見られる ○○一 C完成はしているが表現方法に工夫と努力を要する			
				(4) (5)	✓					
			10	(1)	1		<主体性・実行力>			
324		社会人基礎力 (学修態度)		2	•		・児童文化財の良さを伝えるために、授業の中での発言や演習など積極的に関わることができ、技術修得のために自ら練習をすることができる。 ・失敗を恐れずに、とにかくやってみようとする果敢さをもって演習や発表に取り組むことができる。 〈課題発見力・計画力・創造力〉			
学修行動				3	1		・多くの児童又化財に触れ、字んだ知識や情報を活かし各観的に免産年齢にあった児童又化財を選ぶことかできる。 ろ			
				4	1		・制作計画表に記入した期限を守り制作できる。 ・作品を作り上げる力、人前で演じることができる力、感動を伝えることができる力などを身に付ける。 ・発信力・傾聴力・規律性> ・聞き手にわかり易い発表、声の大きさ・話す速さ・話す内容が整理されている。			
				5	1		・開き手にわかり易い発表、声の大きさ・話す速さ・話す内容が整理されている。 ・相手の話す意見を共感的に聴くことができ、さらに自分の意見を述べることができる。 ・講義や演習に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。			
 総合評価 割合		100								

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
・子どもの発達段階を理解し児童文化財を選ぶことができる。① ・ ・	・児童文化財を選ぶことができ、児童文化財について説明することができる。 ① ・昔話の特徴を説明できる。② ・パネルシアターのシナリオ、人形劇の制作計画を提案することができる。③ ・作品に工夫が見られること。④ ・人形劇・パネルシアター等の表現方法を身に付け、発表することができる。⑤ B(良)①②③④⑤、C(可)①②③⑤

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 「児童文化財 」につ いて学習する。 (藤井/中西)	講義・質疑応答 児童文化財について学 習したことについて発 表	授業内容・評価等について理解できる。 児童文化財の活用方法について理解できる。	復習 保育教材の活用、制作 のポイントについて復 習しておくこと。	45	傾聴力 規律性
2	人形劇の概要 人形劇を見る・「お 話」を作る。 (藤井)	巡回指導で対応 講義・演習後	人形劇を見ることにより、実践技術方法や保育と子どもとの関係性が理解できる。	復習 人形劇の実践技術のポイントをまとめておく こと。	45	主体性創造力規律性
3	人形制作(1) 片手使い人形を制作す る。 (藤井)	巡回指導で対応 講義・演習	片手使いの人形の制作 方法を理解でき、計画 表に従い作り始めるこ とができる。	復習 片手使いの人形の完成 を目指して作ること。	45	主体性実行力規律性
4	人形制作(2) 片手使い人形を制作す る。 (藤井)	巡回指導で対応 講義・演習	片手使いの人形の完成 を目指して作ることが できる。	復習 片手使いの人形の完成 を目指して作ること。	45	創造力規律性
5	人形制作(3) 人形の活かし方・演じ 方を学ぶ。人形を制作 する。 (藤井)	巡回指導で対応 講義・演習	効果的な人形の操作方 法を身につけ、互いの 技術の向上を図ること ができる。	復習 片手使いの人形の完成 を目指して作ること。	45	主体性創造力規律性
6	人形制作(4) 人形の活かし方・演じ 方を学習する。 発表 準備。 (藤井)	巡回指導で対応 講義・演習	効果的な人形の操作方 法を身につけ、互いの 技術の向上を図ること ができる。	復習人形の演じ方を練習すること。	45	創造力規律性
7	人形制作(5) 発表上演を実施する。 (藤井)	巡回指導で対応 講義・演習	自分で作った人形で発表上演することができる。また人前で演じる 楽しさや面白さを理解できる。	復習 発表の振り返りを行い、より良い活かし方を見つけること。	45	発信力傾聴力規律性
8	シアタースタイルの文 化財 パネルシアター の概要 (中西)	巡回指導で対応 講義・演習後、フィー ドバックする。	パネルシアターを見ることにより、実践技術方法や保育と子どもとの関係性が理解できる。	復習 パネルシアターの実践 技術のポイントをまと めておくこと。	45	主体性 課題発 見力 傾聴力

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	パネルシアターの制作 (1) 昔話の特徴を理解す る。 (中西)	巡回指導で対応 講義・演習	昔話の特徴を説明でき る。	復習制作する作品を決めておくこと。	45	主体性計画力創造力
10	パネルシアターの制作 (2) シナリオを書く。 (中西)	巡回指導で対応 講義・演習	パネルシアターの制作 方法を理解し、シナリ オを書くことができ る。	復習演習で学んだことをまとめておくこと。	45	主体性実行力規律性
11	パネルシアターの制作 (3) パネルシアターの魅力 を学び制作する。 (中西)	巡回指導で対応 講義・演習	パネルシアターの制作 方法を理解でき、作品 を作り始めることがで きる。	復習 パネルシアターの完成 を目指して作ること。	45	主体性創造力規律性
12	パネルシアターの制作 (4) 演じ方を学習する。 (中西)	巡回指導で対応 講義・演習	効果的なパネルの操作 方法を身につけ、技術 の向上を図ることがで きる。	復習で学んだことをまとめておくこと。	45	創造力 発信力 規律性
13	パネルシアターの制作 (5) 演じ方を学習する。発 表準備。 (中西)	巡回指導で対応 講義・演習	効果的なパネルの操作 方法を身につけ、発表 の技術の向上を図るこ とができる。	復習 パネルシアターの演じ 方を練習すること。	45	計画力創造力
14	パネルシアターの制作 (6) 発表上演を実施する。 (中西)	巡回指導で対応 講義・演習	自分で作った作品で発表上演することができる。また、人前で演じる楽しさを理解できる。	復習 発表の振り返りを行 い、より良い活かし方 を見つけること。	45	実行力 発信力 規律性
15	全体のまとめ 全体のまとめと振り返りを行う。 (藤井/中西)	巡回指導で対応 講義・演習後、フィー ドバックする。	学んできたことの振り返りを行う。	予習 今までの学習の振り返 りを行っておくこと。	45	主体性傾聴力規律性

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力